東御市

市議会だより

第57号
2018.5.1

表紙の写真
できるぞ、がんばれ！
（田中保育園）

平成30年度予算可決
どうなる 市民の暮らし

新企画
ちょっと深掘り

- 湯楽里館改修を議会がチェック
- 決算附帯意見のその後

第１回定例会審議報告・総括質疑 …… 2〜5
予算特別委員会審査報告…… 6〜7
常任委員会レポート…… 8〜9
市政を問う（一般質問） ……10〜19
話題を追って…… 19
提出案件の審議結果/
　可決した補正予算、条例等 ……20〜21
新企画・ちょっと深掘り ……22〜23
若者フォーカス「滋野保育園のみなさん」 … 24

平成30年
第1回
定例会

どうなる 30年度予算 市民の暮らし

働く場創出　子育て支援　人の流れ創出

東御市議会第1回定例会が2月22日から3月28日まで35日間にわたって開かれ、一般会計、5特別会計、3公営企業会計の予算をはじめ47件の議案が提出されました。市は30年度の事業として「働く場の創出」「人の流れの創出」「子育て支援の充実」を重点施策に掲げており、これにそって審査を重点的に行いました。審査した主な事業を紹介します。関連記事4～9、20～23面

平成30年度 一般会計予算148億円　賛成14、反対2

子どもの医療費
8月から窓口無料に

29年度から第3子以降の保育園・幼稚園の保育料の無料化（所得制限なし）、など子育て支援策が広がってきていますが、この8月から中学3年生までの子どもの医療費は窓口で無料（受給者負担金1レセプト500円を除く）になります。

生ごみリサイクル
30年度は和、祢津地区で

昨年から田中・滋野地区で始まった生ごみリサイクル。生ごみを分別収集することで、燃やすごみの減量化が予想以上にすすんでいます。30年度は和・祢津地区に拡大、4月から説明会が始まっています。北御牧地区は32年度の予定です。

北御牧庁舎リユーアル
文書館、市民交流サロン開設

北御牧庁舎が大改装され新たに文書館（3階）・市民交流サロン（1階）が4月から開設されました。

文書館は東御市の歴史的な古文書や保存期間を過ぎた公文書を収集・保存し、公開します。市民の知る権利にこたえるとともに、歴史的に貴重な資料を伝え地域の学術文化に寄与するものです。

市民交流サロンは、住民の自主的な地域づくりの活動拠点となります。長野県天然記念物に指定されたアケボノゾウ化石の展示コーナーも設置されています。

空き家対策
特定空家を認定、後片付け補助も

昨年の空き家調査にもとづき長期間放置されている特定空家の認定をすすめるなど住環境整備を確保します。空き家の有効活用へ「空き家片付け」補助制度もつくります。

食材開発で雇用創出
セミナーや商品開発支援

実践型地域雇用創造事業を継続し、各種セミナーや講座を開き、ワインに合う食材開発支援などで事業拡大や雇用創出などを図ります。120人の雇用拡大目標でこれまで70人の雇用が生まれています。

祢津・御堂の荒廃地を再開発
9月に1期工事完成、作付けへ

祢津・御堂の荒廃地を再開発し、ワインブドウ団地に再生する事業の1期工事（12㌶）は9月完工予定。ワインブドウ苗の植栽が始まります。共用地の活用は信州大学や地元と連携し具体的な構想を詰めていきます。

特定外来植物駆除　生育マップもとに全地域で取り組み

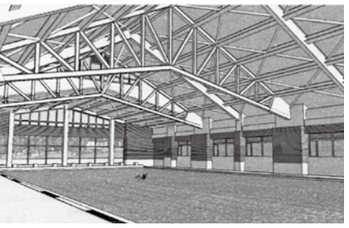
在来生物に大きな影響を及ぼす特定外来植物。昨年度の分布調査をもとにアレチウリ、オオハンゴンソウなど指定植物の生育マップが作成されています。6月の「まちをきれいにする月間」では5つの地域全区で駆除に向けた講習会などを行い、市民の皆さんの協力ですすめます。駆除のための運搬車の借り上げに対する補助制度もあります。

東御市 30年度の予算規模

一般会計	148億5,700万円
国民健康保険特別会計	32億　200万円
介護保険特別会計	27億9,000万円
後期高齢者医療特別会計	3億1,050万円
地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計	122万円
工業地域開発事業特別会計	1億5,000万円
病院事業会計	24億9,605万円
水道事業会計	11億8,331万円
下水道事業会計	27億7,104万円

公営企業会計は収益的支出、資本的支出の合計

湯の丸・高地トレーニング仮設プール建設へ　資金の寄附金確保が課題



昨年来課題になっていた湯の丸・高地トレーニング用プール・体育館の建設が始まります。来年6月の完成を目指しています。これは延面積3000平方㍍の体育館内に50㍍8レーンの国際規格の仮設プールを設置するものです。期間は3年間で、平成33年夏の福岡国際水泳大会後には取り壊すとしています。これを巡りさまざまな論議が行われました。

なぜ「仮設プールか」について市は、国による施設整備は中長期的な検討になっており、東京五輪に間に合わせるために「次善の策」として市が整備する事にしたと説明しました。

総工費は13億円余。このすべてを企業版ふるさと納税（予定額は10億円超）など寄附金で賄うとしています。市は「集める」としていますが、確実な確保が課題です。

市民病院事業会計　全会一致
鹿教湯病院との連携を検討

「市民に親しまれるプライマリケアの中核的な病院」を目指して「新病院改革プラン」にもとづく取り組みが行われています。経営改革の努力のなかで一般会計からの赤字補填は毎年2000万円づつ減少しています。

また市民のリハビリや回復期・慢性期医療などの要望に応え、上小地域の病院再編・ネットワーク化の一環として長野厚生連鹿教湯・三才山リハビリテーションセンターとの連携のための協議が行われます。

文化・スポーツ振興室発足
スポーツ推進計画策定へ

東御市の文化・スポーツ行政がこれまでの教育委員会所管から市長部局に移管（学校スポーツは除く）されます。文化、スポーツをいっそう振興するとともに、地域づくりなどの課題を総合的にすすめるためです。

これに伴い、行政組織の再編が行われ、新たに企画振興部が設置され、このもとに文化・スポーツ振興室がおかれます。スポーツ振興のためにスポーツ推進計画の策定がすすめられます。

後期高齢者医療特別会計　賛成14・反対2
国の特例縮小で保険料アップ

後期高齢者医療保険は県単位で運営され、保険料が一人平均で1362円引き上げになります。税率は据え置きですが、国が特別に割り引いていた措置を廃止・縮小したためです。

国保・介護保険特別会計　全会一致
国保税・介護保険料は据え置き

平成30年度は国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料が同時に改定される年です。このうち国保税と介護保険料は据え置くことになりました。

国保は30年度から制度が大きく変わり、都道府県単位で運営されるようになります。県が市に示してきた一人当たりの税額は年10万円超、15%アップするものでした。これに対し東御市では一般会計、基金から繰り入れ、引き上げなしで対応することにしました。

介護保険では、介護認定者がこの間、減少気味になっていることも考慮し、基金から繰り入れ向こう3年間は、現行並み、据え置きとしました。

下水道事業会計　全会一致
別府地域から農業集落排水を統合

農村集落排水、コミュニティプラントなどを公共下水道に統合する広域化が30年度から本格化します。初年度は別府農業集落排水を公共下水道に結合する工事が行われます。使用料などは現行のままです。順次、全市にひろげます。

ひとづくり、地域づくり、明日の東御市

総括質疑

シティプロモーションやスポーツ振興、生活に密着した国保税や小　規模土木費などの予算を質疑

平成30年度 一般会計予算

地域づくり特任支援員

問 「地域づくり特任支援員」とはどのようなものか。

答 30年度から、特に困難な地域課題に対し専門的に地域づくりを支援するために設置する。文化・芸術を活用しての地域活性とスポーツツーリズムの研究、推進を行う2名である。

新電力を導入し電気料を削減

問 新電力プロバイダー委託はなぜか。

答 新電力を導入するにあたり、事業者の選定、必要書類の作成など業務を委託し、電気料金の軽減を図るため。1600万円程の年間電気料の削減を見込んでいる。

企画振興部と文化・スポーツ振興室が新設
（写真は市役所本庁舎）

合併振興基金の使い道について

問 合併振興基金繰入金で、今年度は1億5303万円を見込んでいるが使い道は。

答 巨峰の王国まつり、雷電まつり、デマンド交通、温泉施設及び体育施設の指定管理委託料などに充てる。

問 約10億6400万円が残るが今後の計画は。

答 市の均衡ある発展と一体感を醸成するソフト事業等に充てる。
※合併振興基金＝合併自治体が設けられる基金。

スポーツ推進計画策定事業について

問 スポーツ推進計画はどの様に策定するのか。

答 国、県の計画を参酌して進め、目標値なども参考とする。策定にあたってはアンケートの実施、各種団体との懇談を経て、策定委員会を開催し進める。

企画振興部、文化スポーツ振興室を新規設置

問 新部編成の目的と、その主たる任務は何か。

答 文化・芸術・スポーツの一層の振興、魅力を活用した街づくりを総合的、効率的に進めるため市長部局に移管する。

湯の丸高原仮設プール、体育館の原資はどうか

問 湯の丸仮設プール、体育館建設費の原資6億5050万円の見通しは。

答 市長のトップセールスで見込みのある企業を計上した。動向によっては左右することも考え、新規の企業を訪問し支援を求める。

問 大口の企業の社内手続きはどうか。

答 それぞれの決算に応じて、また依頼を申し上げ、寄附申出書をいただく形で積み上げたい。更に多くの企業に理解をいただく努力をし、金額は来年度中には集まるとお約束できる。

小規模土木事業の増額幅はどうか

問 小規模土木事業5540万円の増額は充分とは言えない。どの位の事業ができるのか。

答 増額の中で出来るのは2から3区である。要望のある小規模土木の中には修繕で対応出来る場合もある。なるべく多くの要望に応えられるよう組み合わせて対応したい。

保育士の処遇改善

問 保育士の正規職員化はどの程度進んでいるか。また臨時職員の賃金改善はどうか。

答 臨時職員からの正規職員化が2名、新規採用が3名の正規職員化を図る予定。臨時職員保育士の処遇改善は、常勤の臨時職員で在職1年につき1日100円の増額を計上している。

国保税率は据え置き

問 国保会計の県移管により一人当たりの国保税が増額となるところを、一般会計及び基金からの繰り入れで据え置きとした。その判断理由は何か。

答 基金を活用し据え置きと判断した。基金は過去からの積増しがあり、適正保有額を確保しながら、基金からの繰り入れとそれに見合う一般会計からの繰り入れを基準に判断した。

平成29年度 一般会計補正予算

主な減額理由について

問 道路橋りょう費47 33万円、日向が丘団地建設工事費1億2032万円の減額理由は。

答 社会資本交付金事業の国の内示額が要望よりも減額となり、事業実施が縮小となったため。

問 医学生奨学金貸付金240万円が減額されている。利用者減が感じられるが、これからどうするのか。

答 29年度は貸付者無しであった。継続はするが今後検討していきたい。

問 松くい虫防除対策事業関係で934万円、35％の減額は被害が無くなってきたとの理由か。

答 予定より処理量が減じたためで、被害はまだあり新年度で継続し行う。

主な増額理由について

問 病院事業会計負担金361万円、病院事業会計補助金2億4117万円はどの様なものか。

答 負担金361万円と補助金のうち930万円は交付税措置の増額分で、補助金の残り2億3180万円ほどは純粋に経営基盤強化のためである。

問 交通システム運行補助金624万円の増額は、デマンド交通の土曜日運行、コーディネーター採用によるものか。

答 内474万円がデマンドへの補助で、土曜日運行を始めたが利用者が全体に減少していることによる。

北御牧小と和小のトイレ改修

問 祢津小の改修の時期はどうか。

答 北御牧小に7500万円、和小に1億1300万円で工期は5月から年内を予定。祢津小は来年度を予定したい。

軽井沢駅内にプロモーションブースを設置

問 しなの鉄道軽井沢駅構内プロモーションブース賃借料120万円の内容は。

答 ホームに設置のアンテナショップ的なブースで1年間の賃借料。特産物の販売、ふるさと納税や観光のPRに活用する。

沿線市町村のブースが並ぶ軽井沢駅

平成29年度 一般会計3月補正予算の主な内容

（単位：千円）

湯の丸高原施設基金積立金	20,000
ふるさと納税謝礼	9,800
障害者自立支援給付金	10,300
病院事業会計繰出金	244,782
交通システム運行費補助金	6,241
和・北御牧小トイレ改修工事費	187,700

条例等の質疑

北御牧児童館の閉館時間が早まる

問 北御牧児童館の閉館時間を30分繰り上げるとのことだが充分検討したのか。

答 年1回の児童館運営委員会にはかりながら、現場の様子をしっかり把握し事務局主導で検討してきた。

「うんのわ」の指定管理について

問 振興公社に1年間の指定管理を委託した理由は。

答 4月から切れ目なくサービスを継続できるように特例的に委託した。また1年間としたのは、他の施設と合わせる理由もあるが、この1年で新たな管理者を決定したい。

問 運営方法はどうか。海野宿検討委員会との関係は。

答 サービスの見直しを依頼し検討委員会の意見も聞いて行く。

賛成多数で可決

平成30年度
一般会計予算

予算特別委員会審査報告

予算特別委員長
若林 幹雄 議員

本委員会は3月12日に付託された議案について、各常任委員会の予備審査結果にもとづき、22日に審査した結果、賛成多数により原案を可決すべきものと決定しました。

市長施政方針における市重点施策が平成30年度の一般会計予算にどのように反映されているかなど、各常任委員会の予備審査にもとづき審査をいたしました。なお、予算の執行にあたっては、以下のとおり附帯意見を付けることに決定しました。

附帯意見

●**【健全な財政運営を】**少子高齢化、人口減少が進む中、財政的には、義務的経費が増加し投資的経費の減少が見込まれる。第二次総合計画に基づいた重点事業を中心に、事務事業の更なる見直しを行い健全な財政運営に努められたい。

●**【湯の丸高原施設整備を】**民間資金を活用する、湯の丸高原施設整備事業が確実に推進され、高地トレーニングのメッカとして位置づけされるよう取り組まれたい。

●**【空き家対策の執行を】**平成30年度は空家対策計画が策定され、具体的な取り組みが行われる。事業の執行にあたっては、関係する各課の連携を十分に図り、窓口を一本化し、市民にわかりやすい対応をされ、行政サービスに努められたい。

●**【地域で支え合える仕組みづくりを】**歳をとっても、介護が必要になっても安心して暮らせる地域を目指して、行政と共に地域で支えあえる仕組みづくりが求められている。そのために地域の課題を見出し、地域の人々とともに協力しあう体制づくりを積極的に進められたい。

●**【太陽光発電ガイドラインの作成を】**太陽光発電装置の設置については、環境保全と災害防止のために、地域住民の合意は欠かせない。円滑な普及にむけて手続きを定めたガイドラインを作成するなど取り組みを強化されたい。

●**【生ごみリサイクルの全市的展開へ】**生ごみリサイクル施設「エコクリーンとうみ」が順調にスタートした。今後、全市展開をはかるにあたり、この間よせられた市民の要望や意見を踏まえ、情報の周知徹底とごみの分別、資源化にむけた取り組みをいっそう進められたい。

委員長直撃インタビュー
議員間討論を行う中で議員自身が変わりました！

今回の予算審査は昨年９月の決算審査に引き続き事業評価という手法で実施しました。そこで若林幹雄委員長に直撃インタビューを行いました。

Q１ 今回の予算審査のねらいは何ですか？

これまでの予算審査は予算書の細かい数字のチェックが中心でした。今回の審査ではあらかじめ提出された資料にもとづき、重点項目の事業評価を行いました。今後、事業の執行にあたり重要なことは予算をいくら使ったかということとともに、それによって何がどこまで達成できたか、市民満足度がどこまで向上したかということではないでしょうか。

Q２ そのために何を行ったのですか？

第一に「重点事業に関する補足説明資料」を事前に提出していただきました。第二に市側から説明を受ける前に議員だけで事前審査を実施しました。これにより議員間で問題意識を共有化することができました。第三に市側からの説明は重点事業を中心に、その事業の狙い、実施状況や成果、残された課題について簡潔に報告していただきました。

Q３ それによって何がどう変わりましたか？

一番変わったのは私たち議員自身です。これまで委員会審査は議員一人ひとりと市の担当者との質疑が中心で、議員の間での議論はほとんど行われませんでした。今回事前審査の中で、活発な議員間討論が行われ、より深い議論が可能となりました。こうした中で議会としての一体感が高まっています。

討論

賛成
市民のための予算編成に評価

田中 信寿 議員

平成30年度一般会計予算は、基金等からの繰入金と市債を減じる事で、起債残高を減じ基金積立を確保しており、昨年の決算審査での附帯意見「財政の健全化」への努力が伺える。

歳出については、第2次東御市総合計画に沿った数々の重点事業を推進する上で、効果的に配分されており、東御市の未来につながる、シティプロモーションやスポーツツーリズムの振興を図る予算や、国保会計の県移管にともなう保険料の増額を抑え、国民健康保険料を昨年と同額にするための繰出予算、臨時職員保育士の正規職員化や、地域包括ケアシステムの推進を図るための予算も計上された。また小規模土木の予算を確保し、「空き家対策」にも取り組むとした。

市長施政方針の「働く場所の創出」「新たな人の流れの創出」「子育て支援策の充実」の三施策に重点的に配分しつつ、その他の重要事業や課題にも対応する予算編成で、評価できるものであり、可決すべきものであると考える。

反対
寄附金見通しが不明確では予算は組めない

平林 千秋 議員

反対の主要点は、湯の丸高原施設整備における高地トレーニング用「仮設プール」を巡ってだ。第1点は、今年度分の実施工事費６億５０５０万円で、原資は全額が企業版ふるさと納税など寄附金に限定しているが、この歳出に見合う寄附金が均衡しなければ、当該予算は組めない。1億円以上の大口3件について、本予算編成時における見通し、企業内の手続きの現状の詳しい報告を、再三にわたって求めたが、いずれも具体的な報告がなかった。

第2点は、こうした事業は国の関与と責任で実施するべきものであり市長は昨年3月まで「1自治体が整備する性格のものではない」としてきた。ところが6月になって「東京五輪に間に合わない」「次善の策」として自前建設に踏み出した。それを全額寄附金でまかなうとする事業が第1点で指摘したような無理・矛盾を引き起こしている。

第3点は、この13億円超を投ずる仮設プールが、〝東京五輪でメダルラッシュ〟を生み出すのかどうかは未確定であり、こんなに巨費をかけながら2年余でプール部分を解体する構想は、湯の丸の持つ高地トレーニングの可能性を活かすことになるかという問題だ。湯の丸の可能性を真にスポーツ界の発展に生かすには、やはり国が施設の建設と運営に責任を持ち、充実したものにすることが求められている。

常任委員会レポート

総務産業　重点施策の議員間議論を活発に行いました

総務産業委員会は、付託された平成30年度一般会計予算の予備審査、東御市営住宅に関する条例等5件、東御市湯の丸高原スポーツ交流施設（湯の丸高原荘）等の指定管理者の指定について2件、上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて、平成30年度水道・下水道事業会計予算、工業地域開発事業特別会計予算、陳情1件を審査しました。

今議会の予算審査は、市から総合計画の重点施策の資料の提出をうけ、委員会の初日に委員間の議論を重点的に行い、課題・疑問などを明らかにしてから、職員の説明を受け、質疑を行いました。

「とや原ファーム」地鶏専用処理施設（御牧原）

東御市営住宅に関する条例の一部を改正する条例

認知症、障がい者等の入居者で、家賃決定のための収入申告等の手続きが困難と認められる方の家賃は、市が入居者の収入を関係者に報告を求める等の方法により把握し決定することができます。

上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて

上田地域広域連合ふるさと基金に対する出資総額、1億4千174万円のうち955万円を信州大学等との連携による医師確保事業、看護師修学資金支援事業、病院群輪番制病院等緊急搬送収容事業及び病院群輪番制病院後方支援事業等に充当するためです。

洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める陳情は不採択

この陳情の中小河川緊急治水対策プロジェクトの関係は、すでに決定されている事業で、概ね3ケ年の時限的措置であり、市内では直接対象にならない事業であるという意見や、直接かかわりはないが、周辺市町村のことを考えると対策が必要だ、等多くの意見が出されましたが、賛成少数で不採択になりました。

平成30年度水道・下水道事業会計予算について

水道会計では石綿管の布設替が計画的に実施され、安定供給に努めています。

下水道会計では、農業集落排水処理施設の公共下水道につないだ後の建物は、災害備蓄庫などに有効活用されます。

現地視察

農事組合法人「とや原ファーム」は、強い農業づくり交付金を活用し、県下初の地鶏育成と加工を一体化した農場として総合的な地鶏供給に取り組む施設です。

田中駅隣の「観光情報ステーション」では、観光客の利用状況、物品の販売、とうみレッツ号の運行実績などの説明を受けました。

「湯楽里館」では、地方創生交付金の活用による空調設備の改修や、物産エリア、ワイン展示セミナーエリアの設置などの改修の説明を受けました。

総務産業委員会予算審査の様子

社会文教　6日間にわたり委員会審査を実施

和小学校でトイレ改修の説明を受けました。

社会文教委員会は、3月13日から20日まで6日間にわたって一般会計予算の予備審査を行い、4つの特別会計予算と病院事業会計予算、11の条例改正案を原案通り可決しました。

一般会計

初日の13日は委員会審査の事前検討会を実施し、議員だけで今年度予算に関わる重点事業を中心に意見交換しました。これは昨年の決算議会に次ぐもので、議員により問題意識の共有化を図ることが目的でした。

事業ごとに不明な点や問題点を抽出し、翌日から始まる担当部署ごとの説明で質（ただ）しました。

これら審査の中で深刻化する、高齢化社会においてと介護予防とともに健康づくりと地域での支え合い体制の確立が切実に求められていることと、太陽光発電立地の適正な推進のために市の指導指針（ガイドライン）の設定が求められていること、などの意見が交わされ、3件の附帯意見を提出することになりました。

国民健康保険・介護保険特別会計

特別会計予算では、国民健康保険は制度の改変があり、介護保険予算では新たに第7期事業が開始され、国保税・介護保険料の改定も伴います。

国保では税率据え置きの方針が示され、審議の中で「今後も基金の適正確保と一般会計からの繰り入れが不可欠であり、市民生活の影響を与えないよう継続すべきだ」との意見が出され、全員賛成で可決しました。

介護保険も向こう3年間、保険料を据え置く提案であり、全員賛成で可決しました。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計では国による特例措置廃止により保険料が引き上げられます。これに対し高齢者の生活実態を考慮し値上げをすべきではないという意見が出されました。一方、国の方針もありやむを得ないという意見もあり、賛成多数で原案を可決しました。

病院事業会計

市民病院事業会計予算では、この間に経営健全化分（赤字補填）として一般会計からの繰入金を毎年2000万円ずつ縮減しています。この努力を評価しつつ、プライマリケアの病院として市民に親しまれ信頼される病院となるために一層の努力を求めることにしました。

現地視察

高齢者福祉センターの入浴施設、今年度改修が予定されている和小学校、北御牧小学校のトイレの現状を見ました。

社会文教委員会予算審査の様子

東御市議会のホームページから、今回の一般質問を動画で見ることができます。
パソコン、スマートフォンから、いつでもご覧いただけます。
東御市議会 検索

会派代表議員5人

市政を問う

代表質問・一般質問QR

代表質問項目

東翔の会
〈柳澤 旨賢 議員〉
- 施政方針と財政について
- 湯の丸高地トレーニング施設について
- 御堂の進捗状況と農業振興について

太陽の会
〈若林 幹雄 議員〉
- 働く場所の創出について
- 新たな人の流れの創出について
- 農業振興策について
- 地域の居場所づくりについて

さわやかな風の会
〈長越 修一 議員〉
- 市長施政方針について
- 地方創生の取り組みと目指すところについて
- ワイン産業の振興について

公明党
〈依田 政雄 議員〉
- 市長施政方針について
- 学校での心肺蘇生教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について
- バスタイムカバーの着用の啓発について
- 子ども医療費無料化高校卒業（18歳）までの引き上げについて

日本共産党
〈窪田 俊介 議員〉
- 市民生活の現状について
- 子育て支援の充実について
- 湯の丸高原施設整備について
- 文化・スポーツ振興について

議員の問いQ 市からの答えA

【東翔の会】
柳澤　旨賢議員

湯の丸高原陸上競技施設の利用見込みは

問 昨年11月に完成した400㍍トラックなど陸上競技施設についての利用はどのくらい見込まれるか。

答 **すでに9団体1800人の予約**

市長 30年度で、アスリート系合宿を延べ700人と見込んでいたが、このほどの調査で、すでに陸上関係団体のスポーツ合宿は9団体延べ1800人の予約が入っている。

問 スポーツ界のノウハウを東御市民に還元する具体的な取り組みは。

市長 トップレベルで活躍する選手の練習風景を目の当たりにすることができる交流などを通じ、本物を目指す心が芽生えることが期待できる、アスリートとの交流、スポーツイベントの開催も検討している。

問 ふるさと納税の返礼品に、400㍍トラックや、来年6月竣工予定の高地トレーニングプールの利用券割引券を加えたらどうか。

市長 関係者と相談し、前向きに検討したい。

問 30年度予算で寄附金が8億3671万円と財政に大きく貢献しているが、企業版がなくなる32年度からの見通しはどうか。

市長 個人版ふるさと寄附金、一般寄附金を募り施設運営費に充当するための財源として確保していきたい。

御堂の進捗状況

問 御堂の進捗状況は。

産業経済部長 賃貸面積は個人3名2・9㌶、法人2社8㌶、残り17・1㌶は信州うえだファームが栽培予定だ。31年3月頃から苗木の植えつけが始まり、主な品種はシャルドネ、ピノ・ノワールなど。

農業振興

問 米政策で今年より廃止されるのは「米の支払い交付金」と「行政による生産数量目標の配分」の2点、他の支援措置は継続されているが周知は。

産業経済部長 主食用米の需要調整が今後も継続される。東御市農業再生協議会が中心となり、あらゆる機会をとらえ説明すると同時に、各戸にチラシを配布して周知を図っている。

※この他に、働く場の創出、さらなる子育て支援の充実と医療費無料化について質問した。農業振興においては、稲作の多様化の取り組みについて、6次産業推進室の実績と今後の取り組みについて質問した。

トレーニング中の中学生

【太陽の会】
若林　幹雄議員

ワインにあう料理の開発はどうなっている

問 市長は重点目標として働く場所の確保とワインにあう料理の開発を掲げた。この2年間の成果はどうか。

答 **フランス発祥の「ガレット」に取り組んでいる**

産業経済部長 現在までに70名の新規雇用が生まれた。

問 荒廃地が増えているが。

産業経済部長 これまで29㌶の荒廃農地を再生し、祢津御堂では28㌶のワイン用ブドウ畑を造成中だ。

問 農業を魅力のあるものにするにはどうするのか。

産業経済部長 後継者がいない農家は45％。後継者難は深刻だ。今後の研究課題だと認識している。

地域の居場所づくり

問 不登校などから引きこもったり、一人暮らしのお年寄りが増えている。対策をどう考えているのか。

教育次長 不登校は小学校4人、中学校28人だ。引きこもりについては以前実施したアンケートによれば、有効回答の2％が家族の中に引きこもりがいると回答している。いずれにしても居場所づくりと見守りが重要だと認識している。

観光の目玉に高山植物を

問 観光入り込み状況はどうか。

産業経済部長 市内観光地の入り込みは湯の丸54万9千人、海野宿23万8千5百人、芸術むら7万7千2百人、昨年比1・9％減だ。来訪者を受け入れのための環境整備を進めている。

問 湯の丸高原の魅力はレンゲツツジだけでなく、春から秋まで咲き誇る高山植物群落だ。車を降りて30分でコマクサが見られるところなど他にはない。この観光資源を活かせているか。

産業経済部長 ネイチャーガイドさんが活躍している。新たなファンやリピーターを確保して行きたい。

「ガレット」はフランス・ノルマンディ地方の郷土料理

【さわやかな風の会】
長越　修一議員

市長施政方針について

問

一歩一歩着実に進める

答

問　新たな雇用の場の確保の取り組み、成果、今後の施策展開はどうか。

市長　市では地域経済の活性化や雇用の創出を目指し、平成28年7月から雇用創造協議会が実施している実践型地域雇用創造事業の支援に取り組み、30年度末までに延べ120名の雇用目標の実現に協力する。実績はこの2月末までの集計では70名となり、おおむね成果は上がっていると判断している。今後も継続した各種事業展開に加え、30年度には大川北工業団地の造成にも着手し、新たな企業誘致を展開する中で、雇用の場の確保に取り組む。

　また、今議会に条例案を上程している。企業立地の促進による地域の成長発展を図るための固定資産税の課税免除制度の拡充についても、雇用の創出につながるものと期待している。

組織改正について

問　組織改正による文化・スポーツ振興室新設の具体的目的、市の目指す方向性は。

市長　文化・スポーツに関する事務は、これまで教育委員会が所管してきたが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、地域の実情や住民のニーズに応じて他の地域振興等の関連施策とあわせて、市長において一元的に管理・執行することが出来るようになった。これを踏まえ、昨年12月に関係する条例を整備し、本年4月に市長部局へ文化・スポーツ振興室を新設するが、目的は文化・スポーツそれぞれの魅力を活用したまちづくりを総合的かつ効率的に進めるためだ。具体的には、文化行政については地域の文化資源を継承しつつ、市の魅力向上、交流人口の増加、市の知名度アップ等につなげたい。またスポーツ行政については、人材育成やスポーツを支える地域づくり、高地トレーニング施設等におけるトップアスリートとの交流を通したまちづくり、市の集客促進へとつながるスポーツツーリズムへの取り組みが目的。

※その他、ワイン産業の振興について質問した。

湯の丸高原高地トレーニング施設

【公明党】
依田　政雄議員

バスタイムカバー着用入浴の啓発はどうか

問

市内4施設にポスターによる周知を図った

答

問　バスタイムカバーは、手術痕がある人が入浴する際に着ける専用入浴着だ。バスタイムカバー着用入浴の啓発について問う。

産業経済部長　市としても早急に対応、3月4日に市内4つの温泉施設にポスターによる周知を図った。

空き家の利活用を含めた現状と対策

問　空き家の利活用を含めた現状と対策はどうか。

市長　空き家バンク利用促進支援等、計画に沿って対策を図っていく。空き家バンクの状況は、登録件数111件、契約成立63件で、現在18件が登録している。

気兼ねなく温泉施設にはいれるように

学校での心肺蘇生教育普及推進と危機管理体制の強化

問　学校での危機管理体制を拡充し、児童生徒の命を守るための安全な学校環境を構築することは、喫緊の課題である。児童生徒への心肺蘇生教育の現状と今後の方向性について問う。

教育長　小・中学校現場において、過去10年間で実際にAEDを使用したり心肺蘇生措置をしたりした事例は起こっていないが、今後も引き続き児童・生徒に対し、年齢や発達段階に応じた心肺蘇生法を伝えていく。

子ども医療費無料化高校卒業まで

問　15歳までを対象に窓口無料化が国の軽減処置に伴い実施され、子育て世帯の経済的負担が軽減されると同時に、市の負担も軽減される。この軽減分を高校卒業までの医療費無料に充て未来を担う子どもたちの応援に取り組むべきと考えるがどうか。

健康福祉部長　今後の財政状況や他市の状況等を注視していく。

市長　東御市の子育て支援策について取捨選択しながら確実に全体として他市に負けない、子育てしやすい市であり続けるためにしっかりと決意を持って臨んでいく。

※この他、次の質問を行った。

○市内全域における資源循環システムの構築

○ライフラインの整備と災害に強い地域づくり

○鹿教湯三才山リハビリテーションセンターとのネットワーク化について

【日本共産党】
窪田　俊介議員

湯の丸高原施設整備

問

高地トレーニングプールに関する国の検討議論はどうか

2020東京大会後に具体的検討に入ると考える

答

問　国の高地トレーニングに関する予算、議論はどうなっているのか。

市長　有識者の議論では、高地トレーニングの研究知見を現場につなぎ、トレーニングの選択肢を増やすことや、横断的に利用可能なガイドラインの策定が必要、としている。スポーツ庁は高トレ施設の整備について、2020東京大会終了後に具体的検討に入ると受けとめている。

問　仮設プールは2021年福岡国際大会後に取り壊すというが、変更はないか。

市長　東御市として責任を持って運営するのは福岡国際水泳大会までと、水連と明確に約束している。それに間に合うように国にお願いをしようと動いている。

問　今後、プール誘致活動はどうなるか。

市長　国への働きかけを継続する。なお「競技横断的」というキーワードのもと、東御市、上田市、小諸市、群馬県嬬恋村を中心とする高原エリアを競技横断的に行える高地トレーニングエリアとするべく、日本水泳連盟に加え、日本陸上競技連盟、日本トライアスロン連盟との連携も視野にした推進態勢を目指したい。

子育て支援の充実について

問　子育て支援の充実について今後は何をするのか。

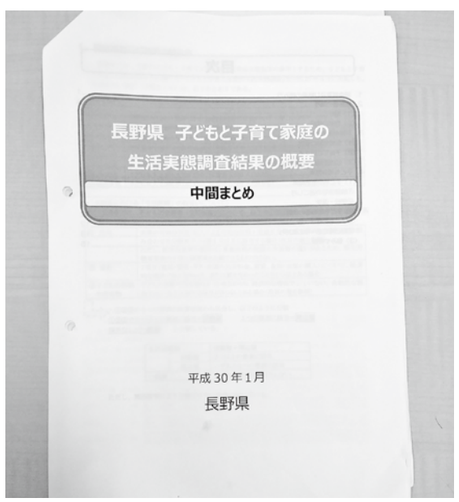
健康福祉部長　今までの支援策の充実を図る。子どもの心身の発達状況の確認など、保護者の意識調査を行い、保護者ニーズに寄り添い、家庭の育児力向上支援につなげたい。

問　県の「子どもと子育ての生活実態調査」では、子育てで大変だと思うことをまとめている。「将来の進学のための学費の貯金」が最も多い。学校給食費無料化、高校進学の給付型奨学金、子どもの医療費無料化の18歳まで引上げを求める。

教育次長　全世帯の給食費無料化は今のところ考えていない。高校進学への給付型奨学金について新たな制度化は考えていない。近隣市町村の動向を注視したい。

健康福祉部長　医療費無料化の拡充等について、財政状況や他市の状況を注視していきたい。

※その他、市民生活の現状について、文化・スポーツ振興について質問した。



「子どもと子育て家庭の生活実態調査」中間まとめ

議員10人 市政を問う

議員の問い Q ……▶ 市からの答え A

東御市議会のホームページから、今回の一般質問を動画で見ることができます。
パソコン、スマートフォンから、いつでもご覧いただけます。
東御市議会 検索

一般質問項目

代表質問・一般質問QR

阿部　貴代枝
- 子どもたちのネット利用の現状と課題について
- 小中学校の冷房設備の設置について
- 東京五輪・パラリンピックに向けた文化プログラムの検討は

佐藤　千枝
- ごみの減量・資源化の取り組みについて
- 市民の移動手段としての足の確保について
- 市民病院の再編・ネットワーク化への取り組みについて

田中　信寿
- 消防団及び地域防災への取り組みについて
- 災害に強く、農作業事故が無い安心して農業に取り組める環境づくりについて
- 学校体育の時間や運動部活動、また校外のスポーツ活動での事故、けがの対応及び防止について

青木　周次
- 安全・安心の為の防災・減災事業について
- 市の資金運用と基金・市債の残高見込みについて

平林　千秋
- 東御市「平和と人権を守る都市宣言」について
- 国民健康保険制度改定について
- 第７期介護保険事業計画について
- 高齢者センターの入浴施設について

横山　好範
- 高齢者世帯の安全と見守りについて
- 歴史的文化遺産の活用について
- 優良農地の保全について

中村　眞一
- 地域づくり組織の活性化推進について

髙木　真由美
- 子どもの貧困対策について
- 切れ目のない妊娠・出産支援の強化について

山浦　利通
- 安全・安心な東御市の実現に向けて

髙森　公武
- 市の所有する団地、土地について
- 海野宿滞在型交流施設の利用状況について
- 地域おこし協力隊の活用について

阿部　貴代枝議員

問　市内の小学校ではネット等利用のクラスごとのルール作りをしている。昨年のアンケート調査の状況と現状の課題はどうか。

教育長　アンケートから見て知識の不足がもとでトラブルに巻き込まれないためにも、ネットリテラシー教育に取り組む必要がある。電子メディア機器の使用は、保護者との約束で多くが保護者の管理のもとで上手につき合っていると捉える。一方で、長時間使用の常態化や保護者の規制が効かないなど心配な状態があるのも事実。ネット依存と言われる症状にならないよう、家庭でのルール作りを働きかけることが必要である。

問　教育長は家庭の中のルール作りを強調するが、それぞれの家庭により大きな温度差があり、困っている保護者も多い。東御市内全体で、スマホ等の機器の使用時間の制限を真剣に検討して欲しいが、いかがか。

教育長　市が利用時間は何時までというルールを決めることは現段階では考えていない。家庭内で実践することが大切。一方で、ネット依存等心身への悪影響が懸念される状況があるので、科学的、医学的な根拠やデーターに基づいて、制限、あるいはガイドライン等を決めていく等検討をする時期に来ていると考えている。

※他、小中学校の冷房設備設置について等質問をした。

問

子ども達のインターネット使用時間の制限を設けて欲しい

答

医学的根拠等で制限等検討の時期に来ていると考える

ネットリテラシー教育講座を聴講する子どもたち

佐藤　千枝議員

問　水切り容器やごみ処理機購入補助の状況はどうか。

市民生活部長　昨年比コンポスト2・5倍・電気式5倍。新規水切りバケツ360件の実績である。

問　生ごみ分別による可燃ごみ焼却の経費はどのように軽減されているのか。

市民生活部長　可燃ごみ量は平成28年度の同期間に比べ199トン、21・2％の減となっている。また、可燃ごみの焼却の主燃料である重油については26％の減、水道水については5・3％の減となっている。

デマンド交通について

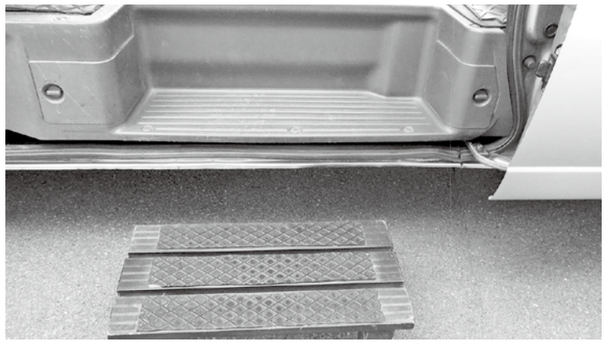
問　昨年10月から始まった土曜日運行の利用者数は。

産業経済部長　1月末までの運行日数15日に対し延べ520人、1日当たり35人の利用となっている。主な乗降場所は、商業施設と医療機関、温泉施設、高齢者センターなどである。

問　要望の多い『ステップ・手すりの設置』『乗り降りの補助』『運行時間拡大』等への取り組みはどうか。

産業経済部長　費用も含め前向きに検討し、可能なものについては実施していく。今回コーデイネーターの配置により、市の福祉関係者等とも連携しながらPR手法を検討し、利用者拡大に努めていく。

※他、市民病院について質問。



デマンドバス乗降口のステップと踏み台

田中　信寿議員

問　消防団の組織改編の目的とプロセスはどうか。

総務部長　団員のなり手不足など様々な課題があり、検討会を立ち上げた。その後、議会全員協議会、防災訓練説明会、まちづくり懇談会、地区毎の住民説明会、自治推進委員会で見直し案を説明した。区との調整等を図り、平成31年4月に新組織発足を目標としている。

問　進捗状況はどうか。

総務部長　消防団にて新組織体制の検討と、分団で各区との調整を始めている。

問　団員、各区からはどの様な意見、反応か。

総務部長　団員からは「負担が少なくなるので早く改正して欲しい」という意見があり、各区からは消防費、地元区との関係、管轄する枠組み、消防団員加入に対する意見等をいただいた。

問　各区の消防費の調整は。

総務部長　区により開きがあり一律に統一するのは難しい。各部の決算を確認し、再編後の必要な費用を洗い出し区との調整を進める。

問　再編後全市域から団員募集を図るようだが、消防部が無い区への浸透は。

総務部長　広報誌等でPRに努め、区にも説明に伺う。

問　市も積極的に関与し、区と消防部、団との調整役となるべきだ。

総務部長　調整が進まず、難航している場合は今まで以上にかかわっていく。

問

消防団の組織改編への取り組みはどうか

答

市も関与し、消防団及び区と協力、連携を図り進めていく

火災現場で活動する消防団員

青木　周次議員

問　防災・減災事業の進捗状況と今後の計画は

答　市民の安全安心確保のため事業推進に努めていく

問　豪雨での被害が多発しているが排水路整備、池の提体改修、橋りょう改修の進捗状況と今後の計画は。

都市整備部長　排水路整備は現在常田地区等で実施中。今後西海野地区を予定している。池の提体改修は、耐震工事が必要となった四ツ京大池が工事中で加沢池が協議中。橋りょう改修工事は、早期措置段階と判定された34橋を優先的に修繕を実施し、すでに17橋が修繕済で今年度は4橋予定している。

常田地区の排水路整備

問　林業振興事業をどのように推進し、里山整備の理解を深めるために何かソフト事業を実施しているか。

産業経済部長　松くい虫対策を継続し30年度に林地台帳を整備する子ども達に森に関心を持ってもらう為に、東御の森のイベント・森林教室の開催、みどりの少年団活動等行っている。

市の資金運用と基金・市債の残高見込みは

問　市の歳計現金や基金はどのような基準で運用しまた基金残高が減少してきているが今後の見通しは。

総務部長　歳計現金等の資金管理は市の2つの基準に基づき運用。基金は定期性預金及び債券により運用している。基金残高においては合併特例債の発行終了や下水道事業に係る起債償還のピークが平成35年頃迄続くため基金が減少。国の補助金等の確保に努める。

問　30年度から国保が都道府県単位になる。県から標準税率が示されたが、一般会計からの繰り入れを継続し、「払える国保税」に。

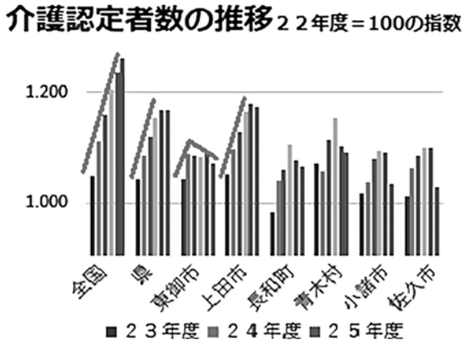
市民生活部長　基金等から繰り入れ税率を据え置くこととした。

問　今後も繰り入れを継続すべきではないか。

市民生活部長　被保険者への影響も十分考慮し、基金の活用や一般会計からの繰り入れ等もふくめ慎重に検討する。

問　介護認定者数は低減しており、第7期介護保険料を引き上げる環境にはないがどうか。

健康福祉部長　基金取り崩しで第6期と同水準とした。



全国や近隣市町村に比べ特異な傾向を示す東御市の介護認定者

問　国保税、介護保険料は引き上げるべきではない

答　基金などを繰り入れ、据え置きにした

問　地域包括ケアシステムの構築をどうすすめるのか。

健康福祉部長　仮称「地域の介護を支える会」を発足させるなどして互いに助け合う地域づくりにつとめる。

市民と協働し平和人権宣言を具体化

問　平和人権宣言の具体化を重点施策にあげているがどうすすめるのか。

市長　29年度は碑の前での平和学習、終戦の日の平和記念式典、被爆写真展、市民の平和への取り組みに共催・後援などをした。30年度も引き続き、次世代の意識啓蒙、学校教育との連携及び他団体との協力体制を検討している。

横山　好範議員

問　高齢者世帯の見守り対策は

答　「しあわせ信州見守り活動」等の推進を図る

問　市内高齢者世帯の現状はどうか。

健康福祉部長　一人暮らし世帯は、1102世帯、高齢者のみの世帯は1129世帯で、合せて全世帯の約19％となっている。

御柱祭で獅子舞を奉納

問　高齢者世帯の安心・安全のためにどのような方策を実施しているか。

健康福祉部長　民生児童委員による訪問のほか、週2回程度清涼飲料水の配布等を通じ安否確認を実施している。また、民間事業者と協力連携するため協定を締結し、異常を発見した場合は関係機関に連絡し、対応する「しあわせ信州見守り活動」の推進を図っている。

災害時支え合い台帳の作成を通じ、お互いの助け合い、見守り合いの精神で地域における見守りの構築を進めていく。

歴史的文化遺産の活用

問　歴史的文化遺産の活用は、地域活性化のために必要である。現状とその管理・活用状況はどうか。

教育次長　指定文化財は有形、無形を含め、国指定が4件、県指定が10件、市指定が69件の合計83件である。管理は所有者等が行うこととされている。保護にあたって、国・県には体系的な施策があり、市では修理、修復、保存及び活用に要する経費について要綱に基づき補助金を交付している。

※その他、優良農地の保全について質問した。

中村　眞一議員

問　地域づくり組織の活性化推進について

答　地域ビジョンの検証実践とそれに寄り添う行政支援に

問　市内5地区の地域づくり組織の、活動状況及び活動資金はどうか。

総務部長　地域づくり組織それぞれに、地域の特性を捉えて作成した地域ビジョンをふまえて活発な活動を展開している。

活動資金は、組織の裁量で運用する地域づくり推進交付金と、単発事業補助の地域づくり活動補助金や、同等の県の元気づくり支援金を活用している。

御牧ふれあいの里づくり協議会代議員会

問　各組織との連携と、各組織の課題・要望、その対応策はどうか。

総務部長　行政部局間の連携調整や行政との連携を、地域づくり移住定住支援室が担当し、各組織の会合や毎週開催される各地域づくり支援員との会合にも参加している。また、役員の負担が過大、活動の参加者や担い手確保・運営資金確保が困難、などの課題には、生涯学習課と連携し人づくり推進の支援を強化する。運営資金は、現制度の有効活動を願うが、活動の検証に基づいて活動状況に応じた財政支援を検討する。

市長　各組織、地域ビジョンの策定が特筆される。地域状況を把握した将来ビジョンをまとめ、多くの住民がかかわって地域全体で絶えず検証する。何をすべきか、どんなお金が必要か、そこに公助、共助、自助の役割が見え、それを支援する行政の状態が望ましい。

髙木　真由美議員

問　子どもの貧困対策についての具体的な取り組みは

答　今年度から、子どもの学習支援事業を実施していく

問　ひとり親世帯の実情と準要保護認定者の状況はどうか。

健康福祉部長　母子家庭が年々微増傾向にある。準要保護認定児童・生徒はここ数年ほぼ横ばいで推移しており、その7割強がひとり親世帯である。

問　子ども食堂や、フードバンク、フードドライブといった取り組みを行っていく予定はあるのか。

健康福祉部長　子ども食堂は、市内でもボランティア活動での実施が始まっている。フードバンク、フードドライブについても、今後検討していく。

問　学習支援事業の具体的な内容は。

健康福祉部長　社会福祉協議会に委託をし、支援計画を策定した子供に対して、週1回程度の支援を行っていく。

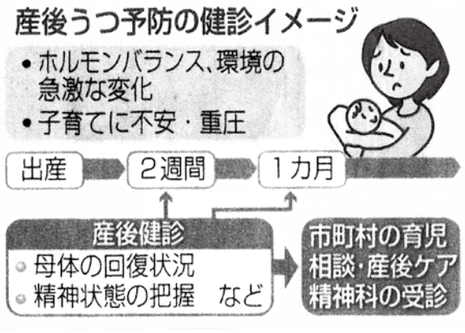
妊娠・出産支援の強化について

問　妊婦訪問の状況とフォローの状況はどうか。

健康福祉部長　助産師よる訪問、電話、来所による相談などでほぼ全員と連絡がとれており、心配な方については再訪問や、出産後の継続した見守り、産後ケアなどのサービスの紹介などをしている。

問　産後うつ予防のための健診の実施状況はどうか。

健康福祉部長　引き続き検討しているところである。



産後うつ予防の健診イメージ

山浦　利通議員

問　レセプト負担金の廃止は出来ないか

答　500円のレセプト負担金を維持していく

問　義務教育期間中の医療費無料化制度が始まる中、完全無料化を考えると、せめて未就学児のレセプトは、廃止するべきでは。

健康福祉部長　受給者負担金につきましては、県と市町村で構成される福祉医療事業検討会で、この制度が将来にわたり持続可能になるため500円のレセプト（受益者）負担金を維持していくことが適当とされたものである。ちなみに28年度では、未就学児が1500人おり、その負担金額は1300万であった。

市民病院の位置づけは

問　市民病院は一次医療機関としての認識だがその位置づけは。また病院間の連携の取り組みの状況はどうか。

病院事務長　一般的に一次医療機関とは外来診療を提供する診療所等、二次医療機関はそこに入院医療を提供する病院。三次医療機関は高度先端医療を提供する医療機関を指す。比較的軽症者を対象としている市民病院は1・5次ぐらいに位置していると考える。病院同士の連携を専門時に取り扱う部署を設けて受け入れ転送などを適切かつ迅速に行える仕組みを整えている。またネットワーク化を図ることにより、今後も市民病院が市民の負託に答えられるよう積極的に取り組んでいく。

地域医療連携の取り組み（市民病院）

髙森　公武議員

問　市、所有の団地や土地の保有状況、今後の対処は

答　市報の掲載を増やし、ホームページの内容を見直す

問　住宅団地70区画・土地5013㎡が残り、草刈り委託料が年間80万円、これを20年以上も続けてとんでもない大きな金額となっている。積極的な販売をやるため、皆さんが目にふれる場所に看板を立てるなど宣伝を強めてはどうか。できないのか。

総務部長　広報や市のホームページ等で情報発信して販売促進に努める。

都市整備部長　市報への掲載頻度を増やし看板の文字の塗り直しを行い分譲地の場合は、ホームページの見直しを行う。チラシも観光情報ステーション等に置き販売促進を図る。

寺坂団地未契約区画

「うんのわ」の経営改善をどうすすめるか

問　海野宿を一年を通してお客さんを呼べるようNPOと商工観光課、協力隊2名などで、「うんのわ」の業務に当たってはどうか。ふるさと納税の返礼品に宿泊券等など配ると多少でもいいかと思うがどうか。

産業経済部長　「うんのわ」の管理運営は、東御市の指定管理者の指定手続等に関する条例に基づいて、決定する。NPO組織、保存会同業者、専門家の組織、海野宿滞在型交流施設運営検討委員会により決定していく事になる。

話題を追って

平成29年度分から収支報告書のインターネット公開

政務活動費の透明性確保をめざして

東御市議会では、より市民にわかりやすく、開かれた議会を目指して議論を重ねてきました。

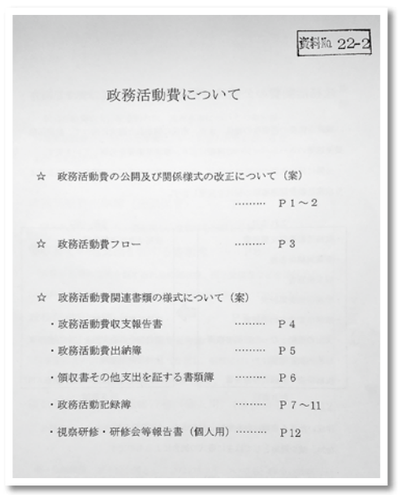
昨年の議論の結果、政務活動費の情報公開について以下の事が決まりました。

1. 政務活動費収支報告書のインターネット公開
2. 添付する証拠書類について、原本を提出する

これまでも、政務活動費の議長への収支報告は、条例で定められていました。

新年度からは収支報告書のインターネット公開を決め、それに伴い公開書式を定め、領収書など証拠書類は原本を提出する事になりました。領収書類は議会事務局で閲覧できます。

平成30年第一回定例会では、議員提出議案により、政務活動費の交付に関する条例の一部改正が行われました。


資料No. 22-2

政務活動費について

☆　政務活動費の公開及び関係様式の改正について（案）　…… P1～2

☆　政務活動費フロー　…… P3

☆　政務活動費関連書類の様式について（案）

・政務活動費収支報告書　…… P4
・政務活動費出納簿　…… P5
・領収書その他支出を証する書類簿　…… P6
・政務活動記録簿　…… P7～11
・視察研修・研修会等報告書（個人用）　…… P12

第１回　定例会の提出案件の審議結果

採決結果:◎全会一致　○賛成多数　×否決

議案番号	案　件	採決結果	常任委員会審査結果 総務産業	常任委員会審査結果 社会文教
議案第1号	平成29年度東御市一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認を求めることについて	◎	—	—
議案第2号	東御市介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	◎	—	—
議案第3号	平成30年度東御市一般会計予算	○	—	—
議案第4号	平成30年度東御市国民健康保険特別会計予算	◎		◎
議案第5号	平成30年度東御市介護保険特別会計予算	◎		◎
議案第6号	平成30年度東御市地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計予算	◎		◎
議案第7号	平成30年度東御市工業地域開発事業特別会計予算	◎	◎	
議案第8号	平成30年度東御市後期高齢者医療特別会計予算	○		○
議案第9号	平成30年度東御市水道事業会計予算	◎	◎	
議案第10号	平成30年度東御市下水道事業会計予算	◎	◎	
議案第11号	平成30年度東御市病院事業会計予算	◎		◎
議案第12号	平成29年度東御市一般会計補正予算（第8号）	◎	—	—
議案第13号	平成29年度東御市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	◎	—	—
議案第14号	平成29年度東御市介護保険特別会計補正予算（第2号）	◎	—	—
議案第15号	平成29年度東御市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	◎	—	—
議案第16号	平成29年度東御市水道事業会計補正予算（第2号）	◎	—	—
議案第17号	平成29年度東御市下水道事業会計補正予算（第2号）	◎	—	—
議案第18号	平成29年度東御市病院事業会計補正予算（第1号）	◎	—	—
議案第19号	東御市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	◎		◎
議案第20号	東御市文書館条例	◎		◎
議案第21号	東御市特別職の職員の給与に関する条例及び東御市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	
議案第22号	東御市一般職の職員の退職手当に関する条例及び東御市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	◎	◎	
議案第23号	東御市児童館条例の一部を改正する条例	◎		◎
議案第24号	東御市介護保険条例の一部を改正する条例	◎		◎
議案第25号	東御市ふれあいトロンセンター条例の一部を改正する条例	◎		◎
議案第26号	東御市都市公園条例の一部を改正する条例	◎	◎	
議案第27号	東御市営住宅に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	
議案第28号	東御市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	◎		◎
議案第29号	東御市企業立地の促進等による産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	
議案第30号	東御市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	◎		◎
議案第31号	東御市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎		◎
議案第32号	東御市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎		◎
議案第33号	東御市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎		◎
議案第34号	東御市寄附募集の取締りに関する条例を廃止する条例	◎	◎	
議案第35号	東御市湯の丸高原スポーツ交流施設（湯の丸高原荘）の指定管理者の指定について	◎	◎	
議案第36号	東御市海野宿滞在型交流施設の指定管理者の指定について	◎	◎	

常任委員会審査結果の「—」印は、委員会に付託されなかった案件です。

平成30年

第1回定例会で可決・同意した補正予算、条例等の抜粋

平成30年度予算　9件

※2～3ページをご覧ください。

平成29年度補正予算　9件

◆平成29年度一般会計（第7号・8号・9号）

それぞれ1700万円、3172万千円、2億900万円を追加し、総額は155億5965万4千円となりました。

◆平成29年度特別会計（3件）

◆平成29年度公営企業会計（3件）

※詳しくは4～5ページをご覧ください。

条例の新設　2件

◆東御市文書館条例

文書館の運営に必要な事項を定めるものです。

◆東御市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

居宅介護支援事業者等の指定権限が県から市町村に移譲されたため必要な事項を定めるものです。

条例の一部改正　14件

法改正等に伴う条文の改正をするものです。

条例の廃止　1件

◆東御市寄附募集の取締りに関する条例を廃止する条例

近年寄附募集行為の手段が多様化し、画一的に許可制とすることが実情に即さないため条例を廃止するものです。

上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて

長野県上小医療圏地域医療再生計画に係る継続事業に充当するためです。

※8ページをご覧ください。

人事案件　5件

教育委員会委員の任命、公平委員会委員の選任、人権擁護委員候補者3名の推薦についてそれぞれ同意しました。

指定管理者の指定　2件

湯の丸高原荘は㈱湯の丸観光開発、海野宿滞在型交流施設は㈱信州東御市振興公社がそれぞれ指定管理者となりました。

定例会の議決結果

下記以外の議案等は、全会一致でした。

議案番号	案件＼会派名・議員名	東翔の会 横山好範	東翔の会 柳澤旨賢	東翔の会 青木周次	東翔の会 佐藤千枝	東翔の会 田中信寿	さわやかな風の会 依田俊良	さわやかな風の会 長越修一	さわやかな風の会 山崎康一	さわやかな風の会 中村眞一	太陽の会 阿部貴代枝	太陽の会 若林幹雄	太陽の会 高森公武	太陽の会 山浦利通	日本共産党 平林千秋	日本共産党 窪田俊介	公明党 依田政雄	公明党 高木真由美
議案第3号	平成30年度東御市一般会計予算	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第8号	平成30年度東御市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第45号	湯の丸高原屋内運動施設建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
陳情第5号	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める陳情書	●	●	●	●	●	/	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○

本会議での各議員の賛否　（賛成「○」、反対「●」、退席「退」、議長「／」

議案番号	案　件	採決結果	常任委員会審査結果 総務産業	常任委員会審査結果 社会文教
議案第37号	川西保健衛生施設組合規約の変更について	◎		◎
議案第38号	上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて	◎	◎	
議案第39号	教育委員会委員の任命について	◎	—	—
議案第40号	公平委員会委員の選任について	◎	—	—
議案第41号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎	—	—
議案第42号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎	—	—
議案第43号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎	—	—
議案第44号	平成29年度東御市一般会計補正予算（第9号）	◎	—	—
議案第45号	湯の丸高原屋内運動施設建設工事請負契約の締結について	○	—	—
陳情第13号	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める陳情書	不採択	×	
議員提出議案第1号	東御市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	◎		
議員提出議案第2号	平成29年度東御市一般会計補正予算（第9号）に対する附帯決議の提出について	◎		

28年度 決算附帯意見のその後

30年度予算にどう反映されたか 市民要望実現へ議会がチェック

昨年の9月議会の一般会計決算審査で8項目の附帯意見が採択されました。(『市議会だより』55号参照)市側から「30年度予算に反映する」との回答があり、3月議会での予算審議にあたり各項目について予算での対応状況の報告がありました。主な内容を紹介します。

1 財源確保とさらなる財政健全化

「財源確保に努めた結果、歳入に占める一般財源を前年度比で2億2,800万円縮減し、これにより基金からの繰り入れも減少した」

2 小規模土木工事の予算大幅確保を

「29年度より540万円増額した」。これにより対象カ所が2～3カ所増える

道路改修への要望は強い

3 市単独補助の見直し

「29年度からサマーレビューにより継続的な見直しをすすめている」
※サマーレビュー＝事業の検証

4 地域包括ケアシステム構築の促進を

「体制整備をすすめ、保健補導員や地域づくりの会などの『地域のつながり』を活用し、健康の保持、増進を図る取り組みのための予算を福祉、保健部門に計上している」

5 保育士の確保へ処遇改善・労働環境の整備を

「臨時職員の正規職員化を図り、特に確保が困難な保育士の臨時職員については29年度から在職年数に応じて賃金をアップする仕組みを整えた」(在職1年につき1日100円アップする)

新園児を迎える保育士さん(祢津保育園の入園式)

6 特定外来植物駆除強化へ予算措置を

「特定外来植物の生育分布を調査、分布図や駆除方法の資料を作成した。30年度は全地区を対象に駆除をおこない、駆除植物運搬の車両借り上げ料を計上した。引き続き駆除研修会や広報活動などで市民の意識向上をはかっていく」

解説 決算から予算へ 政策の発展へ議会機能の強化

決算審査附帯意見は次の予算への反映を求めるものですが、議会として市の報告を正式に求め、予算審議で生かすのは今回が初めてです。議会改革の一環で、決算審査のやり方も改革し、重点的な課題を事業評価し、次の予算に具体的につなげ、発展させることを目標にしています。30年度予算の審査も、決算審査の教訓をふまえて、予算説明資料の充実、常任委員会審査の充実など新しい手法も取り入れられています。30年度一般会計予算には6項目の附帯意見がつけられましたが、これも次の決算審査に生かされることになります。

まだ始まったばかりですが、東御市議会の新しい取り組みです。

政策サイクル

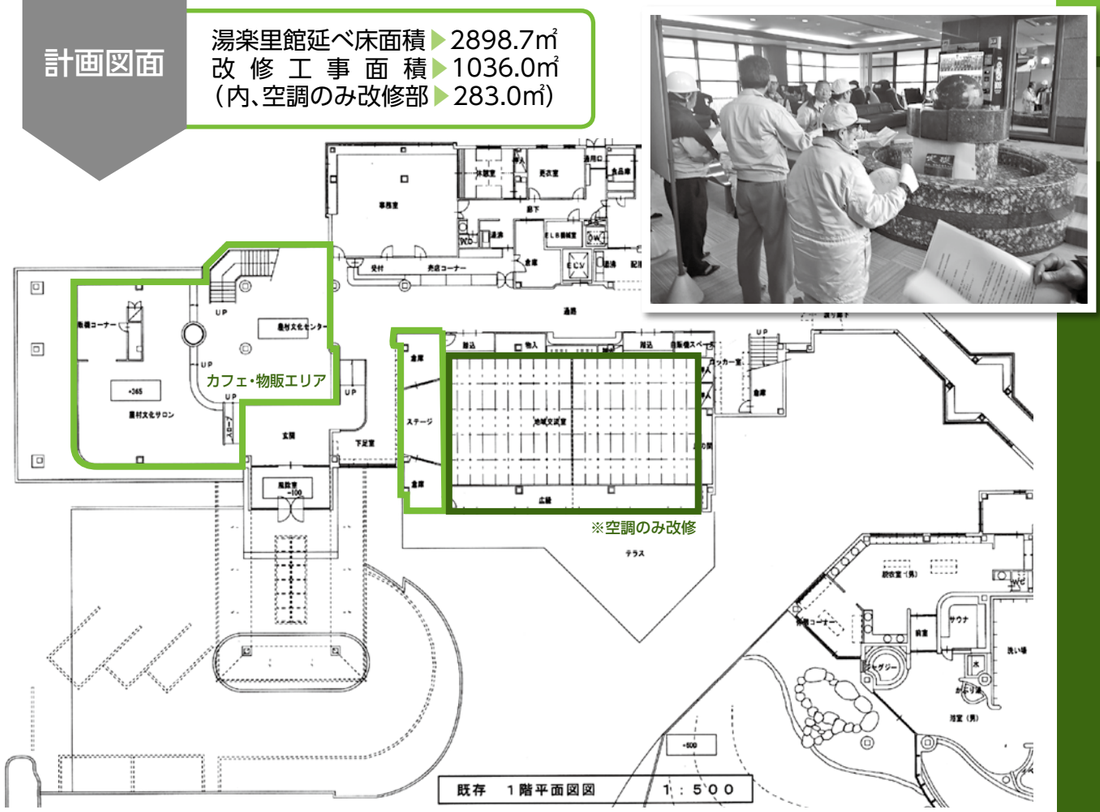
決算審査 → 附帯意見 → 予算編成 → 予算執行 → 附帯意見 → 予算審査

29年度 補正予算に附帯決議

事業内容を明確に 湯楽里館大規模改修工事

計画図面

湯楽里館延べ床面積▶2898.7㎡
改修工事面積▶1036.0㎡
(内、空調のみ改修部▶283.0㎡)



築後25年を迎える湯楽里館は、その湯分に塩分が多く含まれることから設備関係の老巧化が進み、特にエアコンが要修理状態となったため予算化が求められていました。

そこに、申請中の地方創生拠点整備交付金の内示が3月にあり、急きょ湯楽里館大規模改修工事が、議会開催中に上程されました。

【29年度一般会計補正予算(第9号)】内容は、1Fをバリアフリーのカフェ・物販エリアとして新設、2Fにワイン展示・セミナーエリア等を開設するものです。市側の説明には、この補助金の性格上、決定が年度末に集中してしまう、などの対応の難しさの説明もありました。

補正案件であり常任委員会付託されない議案のため、最終日の本会議で、整備内容、目的と事業効果などについて議論となりました。その結果、湯楽里館改修事業に対する附帯決議をつけることになりました。

内容は、施設整備にあたり、次のことを求めています。

①周辺施設全体の活用について地域関係者を交えて検討し、活性化の拠点施設として継続できるよう配慮すること。

②当該事業の進捗状況などを適時議会に報告すること。

③国庫補助制度を活用しての事業について計画の協議段階から議会に報告すること。

若者フォーカス

滋野保育園

宮原悠平（ゆうへい）さん　笹平綾乃（あやの）さん　花岡美希（みき）さん

子どもの笑顔のために日々奮闘

今回は、保育士になって3年目から5年目のフレッシュなメンバー、花岡美希さん、笹平綾乃さん、宮原悠平さんにお話しを聞きました。（※平成30年3月取材）

保育士をめざしたきっかけ

花岡さん　保育園の担任の先生に憧れて、あんなふうになりたいと思って。

笹平さん　3歳下の妹の世話をするのがとにかく好きだったので、自分は保育士に向いていると思いました。

宮原さん　高3の進路を決める際、保育園時代の男性保育士を思い出し、自分も保育士になろうと決めました。

仕事をする上で心掛けている事、またやりがいを感じる瞬間

花岡さん　子どもと遊ぶときは自分も一緒に楽しむようにしています。子どもたちが〝○○できるようになったよ〟と教えてくれる時が一番うれしいです。

笹平さん　子どもたちがうれしそうに接してくれたり提案してくれるので自分がまず楽しもうと思います。お母さんたちともおうちでの子どものようす、保育園でのようすなどの対話があり、やりがいを感じています。

宮原さん　子どもと接している時が一番楽しいです。ああ、こんな事ができるようになったんだ、と驚かされる事が多いです。大変なことも多いが、子どもたちの明るさに救われます。

市への希望

花岡さん　職場の環境はとても良い。保育士が増えれば子どもたちへの関わりも、もっと深くできると思います。

笹平さん　自分も子どもを2～3人は欲しいので、保育料支援などの充実があると助かります。

宮原さん　できれば東御に住み続けたい（宮原さんは市外出身）。一般論だが、収入の充実や医療機関が充実していることが定住には必要だと思います。

みなさん、小さい頃の思いが仕事につながったのですね。

本当に子どもたちと遊ぶ事が大好きなようです。

また、東御市にずっと住み続けたいと思っているようで感動しました。

（取材／中村・髙木・田中）

▲明るく元気なみなさんでした。（左から宮原さん、笹平さん、花岡さん）

明日の東御市を拓く市議会◆あなたも参加しませんか…

議会傍聴へようこそ

第2回定例会における一般質問は6月12日～13日に予定されています。

ご意見・ご感想

市議会だよりについて、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【発行・お問い合せ】
東御市議会・事務局
〒389-0592 長野県東御市県281-2
TEL.0268-64-5810
FAX.0268-62-5040

広報委員

窪田　俊介
山浦　利通
田中　信寿
髙木真由美
中村　眞一
髙森　公武
平林　千秋
横山　好範
依田　俊良

あとがき

三月は、卒業式のラッシュです。私も中学、小学校、保育園と出席する事ができました。

私事だが、中学校の卒業式は、孫もおり、名前を呼ばれると自分の事のように、胸がドキドキしました。感激です。保護者の方も我が子の成長した姿を、しみじみと見ていました。特に保育園では、なにもわからない子供達をここまで成長させてくれた先生方のすごさに頭がさがります。感謝です。四月には、進学、入園と子供達は、各学校に進みます。元気にのびのびと成長していく姿が、また楽しみです。

東御市の子供達が仲良く、明るく、のびのびとした学校生活が送れるよう、大人達の力をそそごう。

髙森　公武

［東御市議会広報紙］　第57号　◆発行/東御市議会　◆発行責任者/東御市議会議長　依田　俊良
◆発行日/平成30年5月1日　◆編集/東御市議会広報調査特別委員会　印刷/中沢印刷株式会社

R80 古紙パルプ配合率80％再生紙を使用
再生紙を使用しています。
植物油インキを使用しています。
VEGETABLE OIL INK

この広報は議員の自主編集で発行しています。